

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

7月前半、毎日曇天が続いた。中旬になっても梅雨明けと共に花期が終わる(花菱の頭頂部まで開花が進む)ことになぞらえて

「梅雨葵」という別名もあるタチアオイも多くの蕾が開花していない状況が続いている。「雨かんむり漢字読本」によると、3日以上降り続く雨を「霖雨」、10日以上になると「淫雨」と呼ぶらしい。梅雨の時期とは分かっていても長引く曇天と湿気がだんだん疎ましくなってきた。農業現場でも日照不足と低温に伴い農作物の被害が心配になってきている。

行われた大町混声合唱団の第36回定期演奏会に友人の誘いで初めて行き、合唱団のコーラスを聞く事が出来た。合唱は、複数の声部に分かれて、各々の声部を複数で歌う音楽の演奏形態だ。大町混声合唱団は、昭和46年に発

揮も行い、信頼の熱い指導者としても有名な方だ。団員の中には、中村先生を慕って参加している人も多く、毎週木曜日の練習日には、毎回8割を超すメンバーが集まっていると、団員の1人の方が

言っても良い宗教的合唱曲、第2ステージは、「千と千尋の神隠し」主題歌「いつも何度でも」を作詞して著名な覚和歌子さんの詩と、常に複数の作曲依頼を抱える信長貴富さん作曲による混声合唱曲集

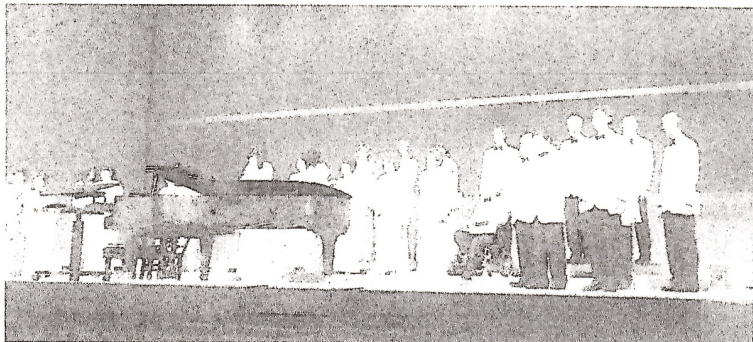
「等高線」、第3ステージは、「井上陽水と・村先生の、いつもながらの熱い指揮も見ることが出来た、楽しい1日でもあった。(NPO法人信州地域

人前で発表する大切さは、誰もが体験してほしい事でもある

唱団は、昭和46年に発足、主に大町市で活動している。音楽監督で常任指揮者でもある中村雅夫さんは、大町高等学校、信州大学教育学部音楽科卒、教育現場で子供たちの指導や、各地の合唱団の指揮もしている。音楽の専門家でもなく、評論できる知識もないのだが、合唱は、歌の内容を観客の心に届けたいとの気持ちで、伝わる心地よい合唱だった。第1ステージは、合唱の原点と

「千と千尋の神隠し」主題歌「いつも何度でも」を作詞して著名な覚和歌子さんの詩と、常に複数の作曲依頼を抱える信長貴富さん作曲による混声合唱曲集

社会フォーラム理事・白馬村森上



語りかける歌は、また明日からの新しい活力となった